学校だより

東風
はる かぜ

みどり市立大間々東小学校

平成30年2月16日

第47号

15日　授業参観の様子①

2月１５日（木）

＜１年生＞

１組は、道徳「たった一つのたからもの」ということで、一人一人の命の大切さをみんなで学習しました。２組は、音楽の「歌と楽器の発表会」で、できるようになったことを一人一人が発表しました。鍵盤ハーモニカの演奏、合唱、なわとび、英語など、お友達やお家の人の前で、堂々と発表する姿に、一人一人の子どもたちの確実な成長を感じました。

道徳「たった一つのたからもの」

たいいく「なわとび」

次は何の発表かな？

＜２年生＞

全クラスとも、生活科「できるようになったこと」の学習を発表会形式で見ていただきました。クイズ形式での発表や堂々とした実技発表に「大きくなったぼくたち・わたしたちを見て」という、ちょっぴり自立した２年生の自信を感じました。

クイズ形式の発表会

自信を持って発表します！

こんなに上手に跳べるようになったよ

＜３年生・わかば学級＞

１．３組は学級閉鎖のため授業参観は中止となりました。２組は、寿会の方々との交流会のために準備してきたことを、お家の方々に向けて実施しました。対象者は変わっても、子どもたちの思いは同じで、日頃の感謝の気持ちを存分に伝えることができました。わかば１組は、国語「発表しよう」、わかば２組は学活「将来に向けて、健康な生活について考えよう」の学習でした。どの子も真剣な表情で学習に向かっている姿が印象的でした。

お家の方と交流です!

どこに気を付けて発表しようかな？

今までの自分を振り返ります！

＜４年生・６年生＞

４年１組は、学級閉鎖のため授業参観は中止となりました。２組は保体「からだの成長」の学習をしていました。思春期に差し掛かかろうとする４年生にとって、男女の体と心の変化について考えるいい授業になりました。

６年生は、１．２組ともに、学活「自分を知ろう」ということで、自分のよさについて、担任やお家の方、友だちから意見をもらいながら、しっかりみんなで考えていきました。付箋紙に書かれたそれぞれのよさを、うれしそうに読んでいる姿が印象的でした。

男女の違いについて学習

自分のよさについて知ろう

お互いによさを伝え合おう

＜５年生＞

５年生は、全クラスで道徳の授業を実施しました。平成３２年度から、小学校では新学習指導要領による学習が完全実施となります。それに伴い、来年度から移行期の学習が始まります。道徳においては、「考え議論する道徳」に、授業の質的転換も求められ、特別な教科道徳として評価も入ってきます。そんな中、先行実施として５年生の道徳は大変価値のある授業でした。どのクラスも、自分なりの考えを確実に持たせ、その後クラス全体で考えを練り合っていく流れで授業が進みました。「個々の意見を全体に広げ交流していく」ことは、今後、どの授業でもより大切にしていかなければならないことだとを痛感しました。

１組「残った仕事」

２組「にじ色のチョーク」

３組「バトンをつなげ」

＜第２回学校評議員会議＞

学校評議員の方々をお招きし、一年間の学校運営に関して、評価のご意見をいただきました。地域で温かく見守られ、支えられていることを改めて実感した貴重な会議となりました。

また、会議前には、６年生の児童が日頃お世話になってる地域の皆様に対して、手作りの「ティッシュカバー」を手に、感謝の気持ちを伝えにきてくれました。

子どもたちからの思わぬプレゼントに、評議員の方々も大喜びでした。大東小の最高学年としてすばらしい姿を見ることができ、子どもたちの成長をうれしく思いました。

貴重なご意見をいただきました！

ティッシュカバーのプレゼント

いつもありがとうございます！